

100号特集

運動会



西中PTA広報紙
第100号

平成26年12月1日現在
生徒数302名・PTA会員278名



文化発表会

9月29日(月)

今年で第8回目となった、文化発表会は、生徒会の意見箱に入っていた「文化部の発表の場がほしい」、「文化部は日頃どんな活動をしているか知りたい」などの要望書がきっかけとなり、実現した学
校行事です。

発表前にたくさん練習し、作品に取り組んできた生徒、視聴する生徒全員が感動を共有し、一体となって盛り上がった素晴らしい発表会になりました。

◆美術部の作品発表◆



発表会に向けて描かれた個性が光る作品

◆有志による歌の発表◆

2、3年生4グループの有志による歌やコントなど、それぞれ工夫をこらした楽しい発表となりました。難しいボイスパーカッションにチャレンジした組もあり、拍手やかけ声となり響き、会場が一体となりました。



◆英語のスピーチ・クイズ◆

蓮田市中学校英語弁論暗誦大会に出場した生徒によるスピーチは、練習の成果が発揮された立派な発表でした。またスピーチ内容の一部分を聞き取るクイズに答えようと、発表に耳を傾けて聴いていた生徒たちの姿も印象に残りました。



《暗誦》

1年 長山 泰輔

1年 井上 栞

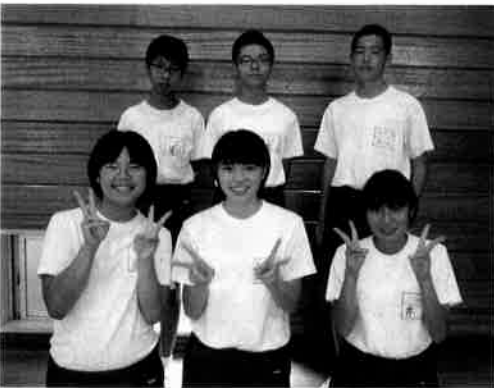
2年 堀江 鉄郎

2年 石山 隼

《弁論》

3年 堀込 央佳

3年 加賀谷 愛



出場した生徒たち

◆吹奏楽部による演奏◆



1年生と2年生による初々しい演奏を、3年生がステージ前に出て手拍子で盛り上げ、吹奏楽部の絆を感じた感動的な演奏でした。最後は聴いていた生徒たちも手拍子に加わり、吹奏楽部と一つになりました。温かい余韻の残る演奏で、文化発表会の素晴らしい時間を締めくくりました。

《曲目》

1、炎と森のカーニバル

2、雨のちハレルヤ

3、キセキ

4、JOY (アンコール)

健康・美容体操講座

教養部部长 前田真由美



10月22日、パルシーにて教養部講座を開催しました。今年度は整体師の先生をお招きして健康・美容体操を行いました。

ヨガマットの上で肩こりや腰痛を和らげる姿勢をとったり、筋力を鍛え、美しい姿勢を保つようにご指導いただきました。

軽く汗を流すことで心身共にリフレッシュすることができました。ご多忙の折、ご参加いただきました皆様ありがとうございます。

ふれあい講演会

10月31日(金)、前全国骨髄バンク

推進連絡協議会会長の 大谷貴子さんを講師にお迎えし、ふれあい講演会が開催されました。大谷さんの著書『生きてるってシアワセ!』は、ドラマ『30万人からの奇跡』の原作にもなっています。

講演では、ご自身の体験を聞かせていただきました。

大学院在学中に白血病と診断、余命3〜5年と宣告され、「死にたくない。絶対に死にたくない。」と思ったそうです。

絶望的な状況の中、最後まであきらめずに白血病と戦い、母親からの骨髄の提供を受け、意識不明の状態から奇跡の生還を果たしたということ です。



闘病中には、家族の支え、同じ病氣と闘う仲間、手紙や電話で励ましてくれる人々との出会いを通して、たくさんの方が他人を助けようと手を差し伸べていることを知ったそうです。

また、普通に生きられること、ありがたさを強く感じ、同じ病気で亡くなった友人が、普通に生きて普通に死にたいと言っていた、というお話には強く心を打たれました。

この講演を通し、生徒達には命の大切さはもちろん、助け合いの気持ち、自分ひとりで生きていくのではないという事が、強く伝わったと思います。

バザー決算報告

収益金 346,021円

ご協力ありがとうございました!

7月13日に開催されましたバザーの収益金が算出されたので、ご報告いたします。

今年台風の影響で開催日が延期されたものの、右記のような利益をあげることができました。収益金は、主に部活動支援金と、学校の設備整備費に使用されます。

皆様、ご協力ありがとうございました。



平成26年度 運動会

～闘争心～ いざ決戦の時間

無限のパワーを出し尽くせ

3-2
坂本 凜真



最後の運動会を終えて
三年三組体育委員 横山 俊太

僕たち三年生にとって、今年が最後の運動会でした。団ごとの練習では、他の団に勝つ気持ちで取り組みました。組体操は、全クラスが協力して取り組み、一致団結することができました。本番では、練習の成果を発揮し、どの学年、どのクラスでも悔いの残らないように全力で取り組むことができました。最後の運動会は、今までで最高の思い出になりました。



輝いていたもの
二年一組体育委員 松本 大地

僕は運動会を終えて一つ気づいた事があります。それは勝利が全てではないということです。僕は優勝を目指し日々の練習を頑張ってきました。けれども学年での優勝は出来ませんでした。僕はすごく悔しかったです。しかし僕は笑顔でした。みんなやりきったという顔をしていて汗と笑顔が輝いていました。その時は勝利が全てではないなと思いました。



運動会を終えて
一年二組体育委員 渡邊 健生

ぼくは、中学生となつて初めての運動会を全力で取り組みました。特に力を入れたことは、体育委員としての集合・整列の指示や出発係の仕事です。また、クラスをまとめることにも努力しました。どれも大切なことであり、責任をもって取り組めたことに満足しています。このことを今後の学校生活にいかしていきたいです。



部活動紹介

男子ソフトテニス部

顧問 堀内 健司先生
副顧問 宮澤由美子先生
部長 石山 隼 部員21名
〈新人戦〉団体戦一回戦惜敗
個人大友・石山ペア(ベスト16)

男子卓球部

顧問 星 秀昭先生
副顧問 大島九二男先生
部長 須田 龍 部員10名
〈新人戦〉団体戦2位
県大会出場



野球部

顧問 山口 昭二先生
副顧問 吉澤 審哉先生
部長 高山 一生 部員11名
〈新人戦〉一回戦惜敗

サッカー部

顧問 吉澤 審哉先生
副顧問 山口 昭二先生
部長 齋藤 仁志 部員29名
〈新人戦〉準優勝

男子バスケットボール部

顧問 阿部 敏充先生
副顧問 橋本 弘明先生
部長 持木 大河 部員14名
〈新人戦〉一回戦惜敗

バレーボール部

顧問 下平 環先生
副顧問 福士 隆子先生
部長 東 鈴夏 部員13名
〈新人戦〉予選2位通過
決勝一回戦惜敗

女子バスケットボール部

顧問 上村あき子先生
副顧問 橋本 弘明先生
部長 高田まり彩 部員11名
〈新人戦〉第三位

女子卓球部

顧問 山戸田孝則先生
副顧問 大島九二男先生
部長 武藤 鈴夏 部員14名
〈新人戦〉団体戦4位
個人戦 千葉 涼 2位(県大)
高橋 恩 3位(県大)



女子ソフトテニス部

顧問 大崎奈美江先生
副顧問 宮澤由美子先生
部長 青木 萌 部員18名
〈新人戦〉団体戦一回戦惜敗
個人戦 福島・井上ペア7位



情報科学部

顧問 吉田 和枝先生
副顧問 大島九二男先生
部長 宇都木真理子先生
佐藤 大海 部員18名

美術部

顧問 佐藤 亮介先生
副顧問 宇都木真理子先生
部長 水谷 葉月 部員18名

吹奏楽部

顧問 井野 裕治先生
副顧問 島田 一先生
部長 横田 瑞希 部員26名
埼玉県吹奏楽コンクール
東部地区大会 銀賞



限界なんて自分次第 見せろ音楽の奇跡

スローガン賞…宝来 聖衣

優秀賞

1年1組 「COSMOS」
 2年2組 「命ある限り」
 3年1組 「君とみた海」

指揮者賞

赤木 圭佑
 大谷 沙那
 宇佐 美卓太

伴奏者賞

石田 澄伶
 中林 樹那乃
 水越 琴乃
 加賀谷 愛

イメージ画賞

★金賞・銀賞	坂本 萌香	千葉 涼	畠中 冨
★金賞	影山 萌奈	鷲尾 ひなた	
★銀賞	大谷 沙那	高田 まり彩	岩淵 香純

合唱コンクール

10月25日(土)

優秀賞クラスのコメント

1年1組 坂本 萌香

3年1組 内藤日向子

10月25日、体育館において校内合唱コンクールが行われました。どのクラスも練習の成果が充分発揮され、すばらしい発表となりました。

私達は、初めての合唱コンクールで優秀賞をとることができて、とても嬉しいです。最初はみんな声が小さく表情も硬くなってしまっていました。しかし先生や先輩からアドバイスをいただいた練習を重ねると、クラスが一つにまとまってきた。合唱コンクール当日は練習の成果を発揮することができ、体育館いっぱい歌声を響かせることができたのでよかったです。

2年2組 齋藤 仁志

僕達2年2組は、合唱コンクールに向け練習を重ねてきました。最初は、なかなかみんながまとまらず気持ちがバラバラでした。けれど、だんだんとクラスがまとまっていき、本番では一人一人が歌詞の意味を考え、心を一つに歌い優秀賞をとることができ、僕達2年2組の最高の思い出となりました。また、合唱コンクールを無事に終えることができ良かったです。

私達のクラスは、朝・昼休み・放課後と練習してきました。上手くいかないことがあると、どうすれば上手くいくか考え、歌いやすいように工夫しました。そんなことが出来たのは、先生方の指導やクラス全体でいい合唱にしようという雰囲気があったからだと思います。合唱コンクールでも市内音楽会でも、3年1組らしいNo.1の合唱ができて良かったです。



市内音楽会で熱唱!!

駅伝大会

10月23日(木)

男子…第2位 女子…第3位



白岡総合運動公園にて

出場メンバー

〈男子〉	持木 大河	今木 美涼
	山田 恭平	吉田あゆか
	石黒 芹南	高田まり彩
	中丸 貴也	青野 咲
	小出 悠人	松平 夏希
	鯉田 太陽	



区間賞

- ◆男子2区 石黒 芹南
- ◆男子3区 持木 大河
- ◆女子5区 高田まり彩

シリーズ「思いっつこ」

教師になること

下平 環

誰もが一度は経験したことがあるだろう。母親役、父親役、子供役など役割を決めて演じる「ごっこ遊び」。私が小学校低学年の頃、はまっていたのが「学校ごっこ」だ。もちろん私は「先生」役を名乗り出る。これが結構本格的で、学校で使わない生活ノートやドリルをもらってきて、実際に教科連絡や日記を書かせるのだ。授業の時間（設定上）は、学校の宿題やドリルに取り組ませる。宿題も出す。

（これは、次回の学校ごっこの時に答え合わせをする。）極めつけは、お手製の学級通信の発行。父が仕事で使わなくなったワープロを使って作る程だった。今思い返すと、なんてめんどくさい小学生なんだ。しかし、それが楽しくてしかたなかったのだ。

なぜだろう。「学校の先生」という存在に、憧れを抱いていた

のか。教室で四十人をまとめる姿にカリスマ性を感じていたのか。ただ、あの笑顔が好きだったのか。

きっかけは中学二年生の時。

「お前、先生に向いてるな。」ある日の数学の授業中、担任が私に言った言葉だった。何を見てそう思ったのか、判断基準は分からない。会話の半分以上は冗談だった気がするが、私も単純だったのだ。

あの日、あの時、あの瞬間から私は教師を志し、歩んできた。計三回。高校進学、大学進学、そして就職の時。将来を考え、進路を選択しなければいけない時私はいつも教師になる道を選んできた。

思い込みとは恐ろしいものだ。私が教師に向いているって…。ああ勘違い。恥ずかしい。私は「学校の先生」になった。四苦八苦の毎日だ。夢は叶ったのか。ただ思い続けることで実現は出来る。

私は今日も教壇に立つ。師を目指して。

PTAバス研修会

9月25日



蓮田松韻高校にて

教養部主催によるPTAバス研修会が行われました。今年には四十三名の参加があり、保護者の関心の高さが伺えました。

栄北高校、県立伊奈学園総合高校、花咲徳栄高校、県立不動岡高校、県立白岡高校、県立蓮田松韻高校の見学をしました。一日で六校訪問と、やや急ぎ足でしたが、続けるの見学だからこそ、それぞれの高校の特色が感じられました。

バスの中では、校長先生から高校入試についての話をしていた。だき、親として進路を考える上での有意義な一日になりました。

3学期の主な行事予定

始業式	1月8日
給食開始	9日
1年スキー教室	18、20日
新入生説明会	2月3日
2年校外学習	13日
3年期末テスト	19、20日
1・2年期末テスト	26、27日
県公立高校入試	3月2・3日
3年生を送る会	6日
県公立高校発表	10日
卒業式	14日
給食終了	19日
修了式	26日

《編集後記》

100号の編集にあたり、まず初めにこれまで広報紙に携わっていただきました学校関係、地域の皆様方に御礼を申し上げます。

記念すべき100号が新たな黒浜西中学校広報紙「大地」のスタートになりますことを願って作成いたしました。

平成26年12月 広報部一同